

イノベーションで先へ行く!走れ!未来へ
ON THE RUN!



第99期中間 株主通信

2021年4月1日から2021年9月30日まで

バンドー化学株式会社

2021年度 第2四半期の連結業績ハイライト

売上収益

46,144

百万円
前年同期比 **24.3%増**

コア営業利益

4,376

百万円
前年同期比 **230.2%増**

親会社の所有者に帰属する四半期利益

3,798

百万円
前年同期比 **269.3%増**

事業別の概況

自動車部品事業

売上収益 **19,793**百万円 前年同期比 **36.7%増**

セグメント利益 **1,667**百万円 前年同期比 **740.0%増**

- ▶国内では、積極的な営業活動により補修市場向け品揃えの拡大や多用途四輪車用変速ベルトの販売が増加したことに加え、自動車生産台数の回復により補機駆動用伝動ベルトおよび補機駆動用伝動システム製品の販売が増加。
- ▶海外では、中国において主要顧客の生産台数の増加や補修市場への拡販により補機駆動用伝動ベルトなどの販売が伸長。米国、欧州およびアジア地域においても販売が増加。

産業資材事業

売上収益 **17,163**百万円 前年同期比 **12.9%増**

セグメント利益 **1,954**百万円 前年同期比 **80.7%増**

- ▶伝動ベルトは、国内では、民間設備投資の増加により産業機械用伝動ベルトの販売が増加。海外では、中国、アジア地域において農業機械用および産業機械用伝動ベルトの販売が増加し、米国および欧州地域で産業機械用伝動ベルトの販売が増加。
- ▶運搬ベルトは、国内においてコンベヤベルトおよび樹脂コンベヤベルトの販売が増加。

高機能エラストマー製品事業

売上収益 **7,042**百万円 前年同期比 **28.4%増**

セグメント利益 **413**百万円 前年同期比 **773**百万円増

- ▶機能フィルム製品は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時停滞していた需要が回復したこともあり、建築資材用フィルムの販売が増加。また、医療用および装飾表示用フィルムなどの販売も増加。
- ▶精密機能部品は、主要顧客の生産回復により精密ベルト、高機能ローラおよびブレードなどの販売が増加。

その他事業

売上収益 **2,581**百万円 前年同期比 **4.0%増**

セグメント利益 **147**百万円 前年同期比 **3.2%増**

- ▶ロボット関連デバイス事業、電子資材事業および医療機器事業などが収益に寄与。

2021年度 通期の連結業績見通し

売上収益

90,000

百万円
前年同期比 **10.6%増**

コア営業利益

6,000

百万円
前年同期比 **21.5%増**

親会社の所有者に帰属する当期利益

4,500

百万円
前年同期比 **14.1%増**



代表取締役社長

吉井満隆

カーボンニュートラルを見据え、持続的な成長を目指す

株主の皆様には、日頃は格別のご高配にあずかり、心より御礼申し上げます。第99期中間株主通信をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社グループは、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”（未来への躍進）の第2ステージの

4年目として、「新事業の創出」、「コア事業の拡大」、「ものづくりの深化と進化」、「個人と組織の働き方改革」の4つの指針を掲げ、グローバルで「際立つ」サプライヤーを目指して活動してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間は、売上収益は46,144百万円（前年

TOPICS

2021
4月

- 和歌山工場「災害ボランティアセンター設置場所に関する協定」等を締結
- 「在宅勤務制度」の対象範囲を全従業員に拡大

5月

- 「自己株式取得に係る事項」の決定
- 樹脂製レーシングエンドレス加工「ミスターProジッパー™」を販売開始
- 耳ほつれ防止加工「ミスターバンシール™」を販売開始

6月

- 「2021国際食品工業展（FOOMA JAPAN2021）」に出展
- 連結子会社である株式会社 Aimedic MMT が「C-STRETCH®」を活用した呼吸器領域初の医療機器「ResMo®」を販売開始
- 「新型コロナウイルスワクチン接種休暇」を導入

7月

- 「紙幣/カード搬送用歯付ベルト UVH仕様」を販売開始

8月

- 「CSR報告書2021」を発行

9月

- 高負荷対応歯付ベルト「Ceptor®-X Plus」を販売開始

特集

バンドーグループのサステナビリティ

当社グループは、持続可能な社会の実現が、当社グループが持続的に存続できる前提であると認識し、「調和と誠実の精神をもって、社会のニーズに沿った新たな付加価値とより高い品質を日々創造、提供し、お客様をはじめとする社会の信頼に応える」という経営理念のもと、社会の一員として、持続可能な社会の実現を常に意識して事業活動を行うことにより、社会的責任を果たしていきます。

CO₂排出量のさらなる削減に向けて

当社は、気候変動リスクの増大要因の1つであるCO₂排出量の削減に向けて、事業拠点における燃料転換や、LED照明、高効率ボイラーの導入など高効率設備への更新などに取り組んでいます。2020年度のCO₂排出量*は41,791t(1990年度比30%削減)となり、「2020年度目標」を達成しました。

今後も省エネ設備の導入等を計画的に進める一方、日本政府の「2050年カーボンニュートラル宣言」が公表されたことを踏まえ、より実効性のある目標設定を行うべく、検討を進めていきます。

*スコープ1、2



高効率設備への更新



本社事業所に設置したLED照明

同期比24.3%増)、コア営業利益は4,376百万円(前年同期比230.2%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,798百万円(前年同期比269.3%増)となりました。また、2021年11月10日開催の取締役会において、株主還元方針の変更と配当予想の修正を決議し、2022年3月期の期末配当予想を1株当たり8円増配し、24円に修正することにいたしました。

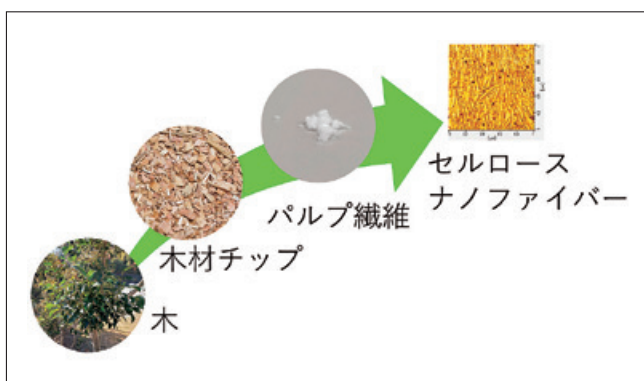
当社グループは、近年の最も大きなグローバルリスクの一つである気候変動問題の深刻化にともなう、事業環境の変化を重要な経営課題の一つとして認識しており、これまでも事業所における消費電力量の削減や、より生産性の高い製造ラインの構築などの様々な取り組みを通してCO₂排出量削減等に努めてまいりました。このようなか、気候関連財務情報開示タスク

フォース(TCFD)の提言に沿った開示の準備を進めるとともに、日本政府の「2050年カーボンニュートラル宣言」に向けたグループ全体でのさらなる取り組みを着実に推進し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

カーボンニュートラルに貢献するセルロースナノファイバー関連技術開発の助成先に選定

当社は、2020年8月、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の助成事業「炭素循環社会に貢献するセルロースナノファイバー(CNF)関連技術開発」の助成先に選定されました。化学品メーカーである東ソー株式会社と連携し、採択テーマ「伝動ベルトをターゲットとしたCNF複合化クロロプレンゴムの低コスト製造技術開発」を行っています。CNFは、鋼鉄の5分の1の軽さで5倍以上の強度を有するバイオマス由来の高性能素材であり、その実用化に向けた期待が増す一方、市場拡大にはさらなる用途の開拓やコストダウンが期待されています。当社は、CNFの特長を活かしたナノ分散技術によるベルトの高伝動化および高効率化の製品開発に取り組んでいます。高伝動化による駆動システムの大容量化・コンパクト化や、高効率化による低燃費化を通じてCO₂排出量削減を図ります。



バイオマス由来の高機能素材 セルロースナノファイバー

革新製法の開発による持続可能なものづくり

当社グループは、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”の第2ステージで「ものづくりの深化と進化」を指針に掲げ、主要製品の革新製法の開発を推進しています。新しい製法の開発を進めるなかで、廃棄物やエネルギー使用量などの大幅な削減に取り組み、社会の持続的発展に貢献しています。2020年度は和歌山工場で革新製法の開発に取り組み、産業用歯付ゴムベルトの工程を新規設計しました。その結果、従来のラインに対し材料ロス約40%、エネルギー使用量を40%削減し、労働生産性は2倍となったほか、資本生産性も1.5倍を達成しました。こうした効率化の一方、製品の機能や精度については、各工程の設計精度を高めるとともに新たな技術を用いることで、従来製法と同等を実現しています。



革新製法 (和歌山工場産業用歯付ゴムベルト工程)

▶ 株式の状況

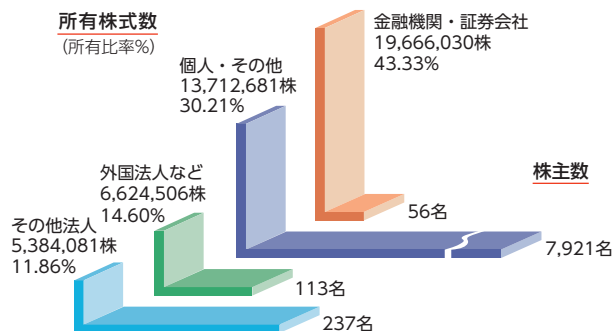
発行可能株式総数	187,000,000株
発行済株式の総数	47,213,536株 (自己株式1,826,238株を含む。)
株主数	8,327名

▶ 大株主

大株主名	当社への出資の状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,476	9.86
バンドー共栄会	4,200	9.25
株式会社三井住友銀行	2,290	5.05
明治安田生命保険相互会社	2,000	4.41
株式会社みずほ銀行	1,800	3.97
株式会社三菱UFJ銀行	1,575	3.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,573	3.47
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,401	3.09
日本生命保険相互会社	1,174	2.59
東京海上日動火災保険株式会社	919	2.03

(注) 1. 当社は、自己株式を1,826,238株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 出資比率は、自己株式を控除して算出しております。
3. 上記の出資比率につきましては、小数点第3位を四捨五入して表示しております。

▶ 株主構成



(注) 所有比率は、自己株式(1,826,238株)を控除して算出しております。

▶ 会社概要

社名	バンドー化学株式会社 Bando Chemical Industries, Ltd.
創業	1906年(明治39年)4月14日
設立	1937年(昭和12年)1月7日
本社事業所	神戸市中央区港島南町4丁目6番6号
ホームページアドレス	https://www.bandogrp.com

▶ 役員

取締役	
代表取締役社長	吉井満隆(社長執行役員)
取締役	柏田真司(専務執行役員)
取締役	染田厚(常務執行役員)
取締役	畑克彦(常務執行役員)
取締役	植野富夫(常務執行役員)
取締役(監査等委員)	中村恭祐(常勤)
取締役(監査等委員)	重松崇
取締役(監査等委員)	清水春生
取締役(監査等委員)	米田小百合

執行役員

常務執行役員	永瀬貴行
常務執行役員	松尾聡
常務執行役員	岡田勉
執行役員	山口勝也
執行役員	本田裕治
執行役員	八木尚史
執行役員	野口忠彦
執行役員	川原英昭

※取締役(監査等委員)重松崇氏、取締役(監査等委員)清水春生氏、取締役(監査等委員)米田小百合氏は社外取締役であります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL(通話料無料) 0120-094-777
公告方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://www.bandogrp.com ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および神戸新聞に掲載して行う。
上場取引所	東京(第1部)

〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

■ 個人投資家の皆様を対象としたIRメール配信サービスを行っています。

配信登録をいただいた皆様へ、最新のニュースリリース等、当社IRに関する情報をお知らせしています。メールアドレスをお持ちの方であれば、どなたでも無料で登録いただけますので、ぜひご利用ください。

登録先URL:https://www.bandogrp.com/ir/news_service.html

右のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただいてもアクセス可能です。

※配信は当社の判断に基づいて行います。 ※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
※株式会社マジカルポケットが提供するメール配信サービスを通じて配信しています。

